

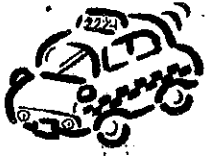
あつという間に

九月も終わりきょうです。



皆様お変わりなくお元気で過ごさしのことと思います。

それにしても暑い夏でしたね。地球は回る軌道がずれてしまったのかと学のない私は勝手に漫画を想像したりしていました。とはいってもクーラーの効いた部屋で、おやつポリポリの状態です。ですから申し訳ないことです。道理で体型は崩れっぱなしでみつももない事です。少し涼しくなったら、あちこち探検してみること致します。



素晴らしい

マー



とは申しましても随分過ぎし易くなりましたね。あさ早くゴミステーションに行く時、こうろぎかキリギリスか解りませんが綺麗な音を聞かせてくれます。ゴミを入れた袋には出した人の名前も書かない透明な袋がきちんと並べられていて素晴らしいと思えます。これだけ見てもみんないいかたばかりなのでしょう。私もそつと並べて置きました。

この町は



タクシーに乗った時、運転士さんが言われたのですが、戦争の時に被害にあっていないので街並

が整備されていないから道路が狭くて入り組んでいるのだそうです。かなり年取った方が歩道をスイスイ自転車で走られますのでぼんやりしてはおれませんが、買物物を載せるのにはいいと思つて買ったシルバーカートは邪魔なので旅行用のスーツケースを押してみましたが、音が大きすぎてこれも恥ずかしいのでやめました。つまりお年寄りはいないようです。かと言つて車の運転は私の技術では無理です。この町は昔天領だったようです。江戸幕府直轄のところだったというのです。すごい所に来たものです。抗がん剤のため足がしびれている私はどうしたらいいのでしょうか。ヨタヨタ歩いていると音のしない高級車がついてきていたりして恥ずかしい事です。



後悔先に立たず



年取ったという事はこうだったんだと今気がつきませんが遅いのです。夫の母が七十代の頃、私は質問してみました。

「あつという間に若い頃が過ぎたのでしようね。」と。

「長いこと生きたものいね」という母でしたが生きた時代が戦争中で、しかも従軍看護婦で出産して五十日目に夫を自分の母親に預けて出征したのです。親のほほんと生きた私とは訳が違います。それにしても今、色々考えても取り返しはつきません。今私が出来たことは残りの人生を有意義にいきることしかありません。嫁に出る時実母が言った「向こうのお父さんお母さんを大事にしなさいよ」ということとさえ守っていないのです。大事にしてないよ。とかなしくなります。

